



IPCC

一般財団法人
工業所有権協力センター



For woman



休暇制度等

育児休暇	産前産後休暇・育児休業・育児短時間勤務・看護休暇等、 <u>お子様の成長に合わせた休暇が取得できます</u>
介護休暇	ご家族の介護のための休暇・休業が取得できます
その他休暇	土日祝日・年末年始(12/29~1/3)・創立記念日・年次有給休暇のほかに、夏季休暇・結婚休暇・忌引休暇・ボランティア休暇等の休暇があります
フレックスタイム制度	コアタイムの10:00~15:00を除けば自由に勤務時間が決められます
在宅勤務制度	業務の一部を在宅で行うことが可能です
調査員制度	調査員制度を使えば、 <u>10日または15日勤務が可能です</u>
目標業務量選択制度	入団3年目以降は、各人の状況に合わせた業務量の増減が可能です
定年	一定の条件を満たせば <u>最長73歳まで働くことができます</u>

採用情報はこちら↓



機械A部門
 応用光学グループ
相田 美智子
 - 2019年10月入団
 - 複写機メーカー出身

DAY SCHEDULE

- 9:30 ● 出勤
- 9:40 ● 勤務開始
対話準備
説明する内容を再確認
- 12:00 ● ランチ
持ってきたお弁当をデスクで食べます
- 13:00 ● 対話
1回に2~3件報告
- 15:30 ● 分類付与
- 17:00 ● 次の案件の準備
本願確認等
- 19:00 ● 退勤

新しい技術に触れ続けられる

特許調査業務は、以前勤務していた会社の先輩に話を聞いて興味を持ちました。調べた結果、IPCCが業界最大規模で、処遇の面でも一番良いと思い、転職を決意しました。IPCCでは男女の差がなく仕事ができますし、特許調査のたびに新しい技術に出会うことができ、同じ分野を担当していても飽きることがありません。また分からないことがあっても、主幹・副主幹やグループの先輩方に気軽に相談できる環境があるので、不安を一人で抱え込まずに成長することができます。調査結果の報告(対話)では、審査官に理解して頂けるように説明をする必要がありますが大変ですが、私は人と話すことが好きなので、楽しんで業務を行うことができます。これからさらに技術知見を蓄積していき、今よりも効率よく的確なサーチができるようになるのが目標です。



ライフスタイルに合わせた勤務

個人で完結できる仕事なので、仕事の予定を調整しやすく様々なライフスタイルを抱える女性にとっても働きやすい職場だと思います。体調が優れない時には、フレックスタイム制や時間休暇を使って勤務時間を柔軟に変更できますし、在宅勤務を活用することで通勤時間がかからない分、生活にゆとりを持つこともできます。また木場のオフィスに出勤すれば、広々としたデスクと大画面のパソコンで作業ができる上、調査をするためのシステムが大変充実しているので、職場環境も快適です。

応募を検討している方へ

前職のメーカーでは、約15年間技術開発を経験した後、技術職から離れ、広報活動を担うスタッフ職をしていました。そのため他の主席部員よりも直近の技術知見が不十分でしたが、周囲のサポートや研修等、IPCCの教育体制が整っていたおかげで、順調に業務に慣れることができました。選考過程で自分の経験にあった配属先グループを相談して決められたのも大きかったかもしれません。人生において新しいことに挑むのは勇気のいることですが、今後も技術に関わりたいたい方であれば、挑戦するには十分に価値のあるお仕事だと思っています。

化学部門
 生命工学・医療グループ
 つる
水流 まり子
 - 2021年4月入団
 - 食料品製造会社出身

DAY SCHEDULE

- 8:50 ● 出勤
- 9:00 ● 勤務開始
検索
文献精読
- 12:00 ● ランチ
(財団内で購入したお弁当)
隣接するビオガーデンで緑を眺めてリフレッシュ
- 13:00 ● 文献精読
報告書作成
- 19:00 ● 退勤

前職の知識・経験を活かして

前職では、食品の技術開発・商品開発に携わってきました。IPCCへの応募を検討したのは、出身企業の担当者に、これまでの知識や経験を活かせる場として、紹介を受けたのがきっかけです。興味がある分野の最新技術に触れることに魅力を感じ、応募を決めました。エントリーをする前には、出身企業のOBの方に、具体的な仕事内容や入団してからの研修内容を聞くことができ、さらに選考過程の技術面接についても相談にのってもらえたので、安心感がありました。



はじめの一年間は、出向として勤務し、業務に慣れたタイミングでIPCCとの直接雇用に移り換えてもらいました。出身企業の担当の方から提出書類等のサポートを受け、各種手続きもスムーズでした。

入団後の充実したサポート

これまでに数件の特許出願経験はありましたが、企業での知財業務経験はなかったので、入団直後の法定研修は、学ぶことが多く大変でした。ですが、主幹が事細かく相談にのってくださり、IPCC独自の講義や模擬テスト等、手厚いサポートもあったので、無事に研修を修了することができました。この時一緒に乗り越えた同期は、今でも助け合える大事な存在です。

研修修了後は、すぐに実務がスタートします。私の担当技術は、専門に広いので、グループ毎に設置してある専門書コーナーを活用したり、はじめて見る単語は都度調べて、知識を蓄積することは欠かせません。また、業務で行き詰った時には、配属先グループの主幹、先輩にすぐ相談しています。相談できる人がたくさんいるので、一人で悩むことなく、成長することができます。

魅力的な職場環境

3年目以降は業務量を選択し、フレックスタイム制や在宅勤務を組み合わせて、自分のペースで計画的に働くこともできます。また、IPCCでは個人での業務が中心なので、男女の区別や、元の職場での役職等も一切関係ありません。

さらに、IPCCは職場環境も良好です。オフィス周辺には、緑豊かな公園や川沿いの遊歩道があるので、通勤時に散歩し、鳥(特にカワセミ)や植物(特に桜)をスマホで撮影してリフレッシュしています。また、私は歌うこと、卓球が趣味なので、同好会にも参加したいと思っています。コロナ後に入団したため、まだ参加できていませんが、趣味を通して人生の先輩から話を聞いたり、他部門の人と交流を広げる機会があるのもIPCCの魅力です。